

広報活動

広く県民の疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に対する関心を高め、予防医学について正しい知識の普及により適切な疾病予防行動や健診・検査の受診に繋げ、県民の健康づくりを推進するために普及啓発事業を実施し、「健康長寿日本一とちぎ」の実現に向けた取り組みを行った。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルス対策のために各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら積極的に展開した。

1] 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

1) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行った。

- ① ポスター 920部
- ② パンフレット 13,750部

2) 結核予防に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディアを活用した普及啓発を行った。

- | | | | |
|-------|------------|----|-------------|
| ① テレビ | 45秒告知 | 1種 | 15回（とちぎテレビ） |
| ② ラジオ | 20秒告知（※） | 1種 | 21回（エフエム栃木） |
| | 60秒告知 | 2種 | 16回（エフエム栃木） |
| ③新聞 | 1面突出しフルカラー | 1種 | 1回（下野新聞） |

（※）当事業団の職員によるラジオ告知を収録・放送

(2) 複十字シール運動の実施

1) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール募金運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施した。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられる。

・令和元（2019）年度募金額 1,450,936円

2) 結核など胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」を開始するにあたり、7月29日に栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）と合同で栃木県知事を表敬訪問し、結核の現状報告ならびに複十字シール運動への協力を依頼した。

3) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした街頭キャンペーンを、栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)との共催で、9月28日に宇都宮市のショッピングモール「ベルモール」2階 スカイブリッジ広場で実施した。

- ① 結核予防に関するパネルの展示
- ② 普及啓発セット（リーフレット、複十字シール（小型）など）500セット

2] がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

1) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施し、県や市町等のほか、近年の「がん教育」をめぐる状況を踏まえ、小、中、高等学校及び大学、専門学校など県内の教育機関にもがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付して、がん予防に関する普及啓発を行った。

- ① ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,260部） 計2,520部
- ② リーフレット2種（がん検診：4,000部、乳がんのセルフチェック：5,000部） 計9,000部
- ③ 冊子（がん読本） 2,300部

2) がん検診に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディア等を活用してがん征圧運動を周知した。

- ① テレビ 45秒告知 1種 20回（とちぎテレビ）
- ② ラジオ（FM） 60秒告知 2種 16回（エフエム栃木）
- ③ 新聞 1面突出しフルカラー 1種 1回（下野新聞）
- 3段1/2 モノクロ 1種 1回（読売新聞）
- 折込紙見開き1/2フルカラー 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」）
- 栃木版突出し モノクロ 2種 2回（読売新聞）
- ④ 立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置） 1ヵ所

3) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「がん征圧街頭キャンペーン」を、10月12日に宇都宮市のオリオン通り商店街東武デパート前側アーケードにて開催を計画していたが、台風19号の影響による荒天のため中止とした。

(2) がん征圧募金運動の実施

がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行った。

・令和元（2019）年度募金額 2,108,483円

(3) がん検診啓発セミナーの開催

がん検診の普及啓発を目的として、県内を巡回して行う「がん検診啓発セミナー」を鹿沼市と共催で開催した。（11月4日：鹿沼市民文化センター）

講演会では広い世代から多くの参加を得るとともに、パネルや乳がん触診モデル等の展示及びグッズの配布を行い、がん検診の受診啓発及び普及を行った。

- 1) 参加者：約750名
- 2) 特別講演：アグネス・チャン氏（歌手・エッセイスト・教育学博士）
- 3) 普及啓発グッズ（リーフレット、ウェットティッシュなど）500セット

(4) がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とがん患者及びその家族と支援者やボランティアなどによる地元実行委員会が主催するがん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とちぎ」(9月14日から15日：壬生町総合公園陸上競技場)に事務局として参画した。

また、会場ではがん予防に関するパネルの展示を行ったほか、リレーウォークにも参加した。

(5) その他の主ながん検診受診率向上への取り組み

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載等を行い、がん検診受診率向上のための啓発活動を行った。

① テレビ	45秒告知	6種 80回 (とちぎテレビ)
② ラジオ (FM)	20秒告知 (※)	4種 85回 (エフエム栃木)
	60秒告知	4種 36回 (エフエム栃木)
③ 新聞	1面突出しフルカラー	6種 6回 (下野新聞)
	3段1/2 モノクロ	1種 1回 (読売新聞)
	栃木版突出しモノクロ	1種 2回 (読売新聞)

(※) 当事業団の職員によるラジオ告知を収録・放送

3] 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 週間・月間に関する普及活動

禁煙週間 (5月31日から6月6日)、糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11月1日から30日)に併せ、それらの予防に関する普及啓発ポスターやパンフレット及びリーフレットの配布等を行い、各種週間・月間に関する意識の高揚と正しい知識の普及を行った。

① 禁煙週間

・禁煙ポスター (配布) 287機関

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・レストラン

・禁煙関連パネル、肺がん・タールモデル等 (展示) とちぎ健康の森人間ドックフロア

② 糖尿病予防・重症化防止強化月間

・糖尿病予防啓発リーフレット100部配布 とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(2) マスメディアを活用した普及活動

1) 生活習慣病予防等に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディアを活用して健診・検査等の意義や目的を周知し、受診率向上を図った。

① テレビ	45秒告知	6種 60回 (とちぎテレビ)
② ラジオ (FM)	20秒告知 (※)	7種 149回 (エフエム栃木)
③ 新聞	1面突出しフルカラー	5種 5回 (下野新聞)
	全5段フルカラー	1種 2回 (下野新聞)
	3段1/2 モノクロ	1種 1回 (読売新聞)

2) 生活環境に関する正しい知識の普及のために、マスメディアを活用して簡易専用水道検査等の受検勧奨を行い、県内の公衆衛生の向上を図った。

① ラジオ (FM) 20秒告知 (※) 1種 20回 (エフエム栃木)

3) 食品衛生月間 (8月1日から31日) に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞の告知掲載などを行い、意識の向上と知識の普及を図った。

① テレビ 45秒告知 1種 10回 (とちぎテレビ)

② ラジオ (FM) 20秒告知 (※) 1種 31回 (エフエム栃木)

③ 新聞 1面突出しフルカラー 1種 1回 (下野新聞)

(※) 当事業団の職員によるラジオ告知を収録・放送

(3) 関係機関等との連携・協力による普及活動

1) 県や市町等で実施される健康関連イベントに協力し、医師・保健師等による生活習慣病予防等の健康に関する講座の開催や健康相談の実施、パネル展示やリーフレットの配布を行い、健診・検査の重要性について普及啓発を行った。

① 働くクルマ大集合 ((株) モビリティランド ツインリンクもてぎ: ツインリンクもてぎ/5月5日)

・マンモグラフィ検診車の展示と放射線技師による説明

・がんに関するパネルの展示とリーフレットの配布

② 第29回「看護の日」記念行事 (公益社団法人栃木県看護協会: とちぎ健康の森/5月11日)

・骨密度測定の実施

③ 森フェス2019 (社会福祉法人とちぎ健康福祉協会: とちぎ健康の森/6月8日)

・禁煙、肺がんに関するポスターの展示

・普及啓発グッズの配布

④ 栃木県保健環境センター公開デー (栃木県: 保健環境センター/7月6日)

・食中毒予防 (調理器具やノロウイルス) に関するパネルの展示

・普及啓発グッズの配布

⑤ 市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供 (9市町、2事業所)

・リーフレット2種 計200部、ノベルティ7種 計5,840部

2) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付した。

・複十字誌 (公益財団法人結核予防会) 2,556部

・健康の輪 (公益財団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会) 246部

・対がん協会報 (公益財団法人日本対がん協会) 7,501部

・予防医学ジャーナル (公益財団法人予防医学事業中央会) 216部

3) 女性を対象とした「家庭からの生活習慣病等予防」を推進するために、栃木県地域婦人連絡協議会と連携して、普及啓発活動を行った。

4) 県民が実施するイベント等において広く活用してもらうため、普及啓発用広報・視聴

覚資材の無料貸し出しを実施した。

- ・パネル（がん、生活習慣病等）延べ41枚
- ・モデル（肺・タール・乳がん触診・フード）延べ11組
- ・DVD 延べ1枚

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査等を受診することが非常に重要であることから、ホームページや定期情報誌を通じて県民を対象に健診・検査等の意義や効果を啓発する事業を実施し、県民の健診・検査受診率の向上を図った。

1] ホームページの公開

事業内容や採用情報などの当事業団を知っていただく情報や調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康保持増進に役立つ情報を配信した。

2] 定期情報誌の発行

健康や環境に関する最新情報や保健事業への取組み及び活動状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行し、県、市町、受診団体、医療機関、大学や全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開した。

また、食品検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めることや、ノロウイルスの予防や検査について周知するために、広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行し、食品検査の受検機関や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも設置し、ホームページでも公開した。

3] 事業団紹介動画の作製・公開

当事業団が行う健診・検査事業や普及啓発事業などを紹介する動画を作製し、ホームページで公開したほか、事業団への理解を深めてもらうために関係教育機関等に配付した。

4] 看板等を利用した普及啓発

JR宇都宮駅改札前通路の構内広告設備を利用して、生活習慣病又はがん検診に関する看板を作成・掲出し普及啓発を毎年実施した。また、栃木県庁舎のエレベーター内にもがん検診の受診を啓発するポスターを掲出し普及啓発を毎年実施した。